

平成24年度 第二次なばり快適環境プラン実行計画成果の総括表

環境目標1 新しい時代を拓く、自立と協働による快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価				23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室	環境対策室以外の室等					
(1) 市民の参加を求める	①団体づくりと支援	1				●環境講座の充実と活用	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A	文化生涯学習室A			◎	
		前回	1			●環境保全団体の組織化と活動支援	環境保全担当B					◎	
		1				●市民活動保険の活用推進			地域経営室A			◎	
				前回	1	●エコポイント事業などの推進	環境保全担当C			商工経済室C			△
	②協働による地域づくり		1			●各地域での快適な環境づくりの支援			地域経営室A				○
			1			●都市計画法の地区計画や建築基準法の建築協定、景観法の景観地区などの制度の活用			都市計画室B				○
		1				●放置自転車や自動車駐車対策の推進			維持管理室A	都市計画室A			◎
	③個人活動への支援		1	前回		●環境保全に関する情報提供や機材の提供	環境保全担当A						△
		1				●自主的な環境活動への支援	環境保全担当A						◎
	④団体間の連携		1			●他の都市や関係団体・機関との交流と連携	環境保全担当B						○
			1	前回		●市民団体と学校、大学との連携による環境学習と保全活動の推進			地域経営室B	学校教育室B			△
	⑤意識啓発 (水質保全)		1			●生活排水の適正処理の啓発	環境保全担当A						○
		1				●下水道施設や集落排水処理施設など生活排水対策施設整備の促進			下水道建設室B				◎
			1			●浄化槽等の適正管理の指導強化	環境保全担当B			上下水道営業室A			○
			1			●工場・事業所における排水規制等による水質の改善	環境保全担当A						○
	(大気保全)		1			●省資源、省エネルギー運動の推進		ごみゼロ推進担当A					○
			1			●野焼き行為の禁止の啓発とごみ処理の適正化指導	環境保全担当A						○
	(ごみ対策)		1			●ごみの発生抑制、分別排出の徹底		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B				○
		1				●ごみゼロリサイクル社会の実現に向けた啓発活動の推進		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A				◎
				前回	1	●エコポイント事業などの推進	環境保全担当C		商工経済室B				△
(ペット動物)	1				●鳥獣愛護思想の普及啓発	環境保全担当A						◎	
	1	前回			●正しいペット飼育の情報提供	環境保全担当A						○	
(外来生物)		1			●動物、植物、魚、昆虫などの外来種の適正管理	環境保全担当B						○	
		1			●外来生物法の周知と啓発	環境保全担当B						○	
(化学物質)		1			●P R T R法対象事業所への情報提供	環境保全担当A						○	
		1			●有害化学物質使用事業所への適正管理の要請	環境保全担当B						○	
	1				●適正な化学物質系ごみ処理の啓発の強化		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A				◎	
		1			●家庭などで不要となった医薬品や医療用注射針・医療器具の適正な処理の啓発		ごみゼロ推進担当B	環境衛生組合A				○	
⑥情報の収集と提供		1			●農薬とその容器の適正な処理の啓発			農林資源室A				○	
		1			●環境に関する情報・資料の収集	環境保全担当A						○	
	1				●収集した環境情報の市ホームページや市広報などへの掲載	環境保全担当A						◎	
	1				●市民の環境活動の自主アピールの促進	環境保全担当B	ごみゼロ推進担当A					◎	
合計	24年度各評価数	11	19	0	2	20 7 15 2 0							
	24年度評価割合%	34.4	59.4	0.0	6.3								
	23年度各評価数	11	17	4	0								
	23年度評価割合%	34.4	53.1	12.5	0.0								
	22年度各評価数	4	23	5	0								
	22年度評価割合%	12.5	71.9	15.6	0.0								

環境目標2 学んで知って実践する快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価				23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室	環境対策室以外の室等					
(1) 学校における環境教育の充実に努める	①環境の教育充実	1	前回			●環境教育副読本の活用 ●自然環境マップの作成 ●環境学習プログラムの作成 ●ITを活用した学習の学校間の連携 ●「学校環境デー（6月5日）」の取組の推進 ●学校内緑化の整備	環境保全担当C		学校教育室A			○	
				1					学校教育室A			△	
				1						学校教育室A			○
				1	前回					学校教育室A			○
	②協働による環境教育の推進	1				●PTAを対象にした環境教育の推進 ●「総合的な学習の時間」の活用による環境教育の推進			学校教育室A				◎
		1	前回			●地域住民等の環境教育の場の提供 ●NPOや環境団体の協力による環境教育の推進	環境保全担当B		文化生涯学習室A	地域経営室B			◎
		1						ごみゼロ推進担当A	学校教育室C	地域経営室B			○
	③自然に学ぶ環境教育の推進				1	●自然観察や生き物調査の実施 ●親子環境学習会の実施	環境保全担当B		学校教育室B				○
					1	●自然とのふれあいのある環境教育の実践	環境保全担当B						○
					1	●農山村との交流による体験学習の推進			農林資源室B				◎
					1	●子どもエコクラブへの参加の促進	環境保全担当C		学校教育室A				△
	(2) 職場における環境教育を推進する	①職場での環境教育			1	●環境マネジメントシステム(EMS)の取組み等による事業所内での環境にやさしい事業活動の実施 ●従業員への環境学習の機会の充実 ●事業者への環境保全に対する研修等の参加促進	環境保全担当B		商工経済室C				○
				1			環境保全担当A		商工経済室C			○	
				1			環境保全担当A		商工経済室C			○	
②学校や地域への支援協力等		1			●地域の環境保全活動への参加と支援 ●事業所の環境学習等の情報提供	環境保全担当A						◎	
					●施設の開放及び見学等の実施	環境保全担当B		商工経済室C				○	
					●地域ボランティア活動への参加と支援	環境保全担当A		地域経営室B				○	
(3) 地域における環境教育を推進する	①地域での環境教育の推進			1	●遊びや体験を通じた環境学習の場づくり ●遊休地などを利用した住民交流の場の整備	環境保全担当B		文化生涯学習室	評価基準の見直しが必要			○	
				1	●環境講演会などの開催			農林資源室A				○	
				1	●地域活動の各種団体での学習機会の提供	環境保全担当B		地域経営室B				○	
				1	●地域の自然、歴史、文化の情報整理と提供			文化生涯学習室A				○	
	②自然、文化的・歴史的資源の保護と育成			1	●地域資源の保護活動の実践			文化生涯学習室A				△	
(4) 家庭における環境教育を推進する	①生活様式の転換	1	前回		●環境保全に関する学習会の開催 ●リサイクル活動など環境負荷の低減を図る取組みの実施	環境保全担当A						○	
				1	●新エネルギー対策事業などの紹介 ●環境マークのついた商品購入への啓発		ごみゼロ推進担当A					◎	
			前回		1		環境保全担当B					◎	
					1		環境保全担当B					○	
	②家庭での環境教育の推進	1			●親子で参加できる環境講座の開催 ●省エネ、省資源、リサイクル等に関する家庭での取組み	環境保全担当A							◎
		1			●環境家計簿の実践	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A						◎
					1	●自然とのふれあいによる環境保全活動への参加	環境保全担当C						△
			前回		1	●エコ事業(みえのエコポイント事業、名張市エコシール事業)などへの参加と協力	環境保全担当A						○
	前回			1		環境保全担当C		商工経済室B				○	

(5) 人材育成等の充実を図る	①指導者の養成 (学校では)		1		●学校教職員の環境教育研修の受講の推進			学校教育室C				○		
	(事業所では)		1		●環境に配慮した事業活動のための研修の開催	環境保全担当B		商工経済室C				△		
			1		●環境教育・学習に伴う人材育成	環境保全担当B						△		
			1		●環境マネジメントシステム(EMS)の構築や推進のための研修会参加への啓発	環境保全担当C						△		
	(地域では)		1		●NPOや環境団体が実施する保全活動への支援	環境保全担当B						△		
			1		●三重県地球温暖化防止活動推進員の育成と活用	環境保全担当C						△		
			1		●三重県生涯学習情報センターが開催する環境学習指導者養成講座の活用	環境保全担当C						△		
	②活動の拠点づくり		1		●市民活動支援センターの機能強化と設備の充実			地域経営室B				○		
			1		●名張教育会館「みなくる」での環境関係資料や図書の充実			学校教育室C				△		
			1		●三重県環境学習情報センターなどの活用	環境保全担当C						○		
合 計	24年度各評価数	13	24	9	1					29	3	28	2	0
	24年度評価割合%	27.7	51.1	19.1	2.1									
	23年度各評価数	8	28	11	0									
	23年度評価割合%	17.0	59.6	23.4	0.0									
	22年度各評価数	1	27	18	1									
	22年度評価割合%	2.1	57.4	38.3	2.1									

環境目標3 水遊びや魚とりができ、生き物がすめる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価				23年度評価			
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室	環境対策室以外の室等						
(1) 安全できれいな水を確保する(名張川の環境基準A類型の達成維持)	①安全な水の供給	1				●水道水の安定供給の確保				水道工務室A			○	
		1				●安全で良質な水の供給				浄水室B			○	
		1				●健全経営の推進				経営総務室A			○	
	②生活排水対策				1	●名張川水質保全計画の策定					なし			■
		1				●下水道整備マスタープランの改訂及び下水道事業の推進					下水道建設室B			○
		1				●合併浄化槽の普及					営業室A			◎
		1				●浄化槽の法定管理の徹底					営業室B			○
		1				●河川・水路等の浄化対策事業の推進(しゅんせつ、清掃)					維持管理室A	農林資源室A		○
	③工場・事業場排水対策	1				●事前審査など行政指導の充実	環境保全担当B							○
		1				●環境保全協定などの締結	環境保全担当B							○
		1				●排水処理施設の整備促進	環境保全担当B							○
		1				●公害防止管理の適正化	環境保全担当B							○
		1				●指導監視体制の充実	環境保全担当B							○
	④農薬・肥料対策	1				●農薬、肥料の使用等、管理の適正化指導等					農林資源室A			◎
		1				●ゴルフ場の安全管理と監視体制の強化	環境保全担当B							○
	⑤水質の監視	1				●水質監視測定の実施	環境保全担当C							○
		1				●河川パトロール体制の充実	環境保全担当A				維持管理室B			◎
		1				●簡易水質調査の普及	環境保全担当B							○
				1	●環境カルテづくりの普及	環境保全担当C							△	
⑥啓発と実践活動	1				●市民意識の高揚	環境保全担当B							○	
	1				●環境教育の推進	環境保全担当A				学校教育室B			◎	
	1				●快適環境づくりの実践活動の普及	環境保全担当B							○	
(2) 水辺とのふれあいを大切に(親水性のある水辺空間の再生)	①水辺の整備			1		●水辺自然環境の保全				道路河川室なし	農林資源室A		△	
				1		●水辺緑化の推進				道路河川室なし	農林資源室A		△	
					1	●散策路、サイクリング道などの整備					なし			■
					1	●河川公園、広場等レクリエーション空間の整備					なし			■
		1				●親水性のある河川、水路改修工法の導入					農林資源室A			○
	1				●築瀬水路の水量の安定確保					農林資源室A			◎	
	②河川の浄化	1				●植生、水生生物などの自然生態系の保全	環境保全担当A				農林資源室A			◎
		1				●へドロしゅんせつの促進					維持管理室A	農林資源室なし		◎
1					●水路等浄化対策の推進	環境保全担当B				維持管理室A	農林資源室A		○	
合計	24年度各評価数	7	18	3	3	15				0	17	5	0	
	24年度評価割合%	22.6	58.1	9.7	9.7									
	23年度各評価数	7	18	3	3									
	23年度評価割合%	22.6	58.1	9.7	9.7									
	22年度各評価数	5	20	0	6									
	22年度評価割合%	16.1	64.5	0.0	19.4									

環境目標4 空気が澄みきったきれいな快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) きれいな空気を確保する (大気環境基準に適合する)	①工場・事業場排出対策	1				●工場等の新增設に対する事前審査等の充実 ●公害防止協定等の締結の指導 ●使用燃料、燃焼方式等管理の指導 ●立ち入り調査の充実 ●廃油、廃プラスチックなど産業廃棄物の適正管理	環境保全担当B		商工経済室A				◎	
		1					環境保全担当A		商工経済室A				◎	
			1				環境保全担当B						○	
				1			環境保全担当B						△	
			1					ごみゼロ推進担当B	環境衛生組合A					○
	②自動車等移動発生源対策	1				●生活環境に配慮した公共交通機関の充実 ●国道、主要県道等幹線道路網の整備促進 ●公共交通機関の利用促進			都市計画室A				◎	
			1						都市整備政策室B				○	
		1							都市計画室A				◎	
	③有害物質対策			1		●公害防止施設の整備促進 ●公害防止管理の適正化指導 ●工場等立ち入り調査の充実 ●PRTR法に基づく指導の徹底	環境保全担当B							○
				1			環境保全担当B							○
				1			環境保全担当B							○
				1			環境保全担当B							○
	④大気の監視	前回	1			●常時監視測定局の増設 ●大気汚染の総合システム整備及び運用	環境保全担当C							◎
				1			環境保全担当B							△
	⑤啓発と実践活動	1				●省資源、省エネルギーの推進 ●環境教育の充実、市民意識の高揚 ●植物等による簡易測定手法の普及 ●低公害車の導入	環境保全担当A							◎
1					環境保全担当A			学校教育室A					◎	
		1			環境保全担当B								○	
1								管財室A					◎	
合 計	24年度各評価数	7	9	2	0									
	24年度評価割合%	38.9	50.0	11.1	0.0									
	23年度各評価数	8	8	2	0									
	23年度評価割合%	44.4	44.4	11.1	0.0									
	22年度各評価数	8	8	2	0									
22年度評価割合%	44.4	44.4	11.1	0.0										
							13	1	8	0	0			

環境目標5 安心して土とのふれあいができる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等				
(1) 安全な土壌を確保する	①土壌汚染の未然防止	1	1			●有害物質を含む原材料、廃棄物の適正管理 ●農薬、肥料の使用、管理の適正化	環境保全担当B	ごみゼロ推進担当B					◎
	②自然表土の保全と土壌の改良	1	1			●優良農地や樹林地の確保と保全対策 ●開発行為を補う緑化の推進 ●農地の土壌改良の推進	環境保全担当B		農林資源室A				◎
	③土壌の監視体制の確立	1	1			●土壌監視測定の実施 ●産業廃棄物等埋立地の周辺の監視	環境保全担当A 環境保全担当A		農林資源室なし 農林資源室なし				◎
(2) 土とのふれあいの場を確保する	①家庭菜園等の普及		1		1	●遊休市有地の開放 ●住宅地のあき地の活用			管財室A なし	農業資源室なし			○
		1				●家庭菜園や花壇づくりの奨励 ●有機堆肥使用の奨励			農林資源室A 農林資源室A				◎
		1							農林資源室A				◎
	②世代間の体験交流	1				●農業や食をテーマとしたイベント交流の場の提供			農林資源室A				◎
		1	前回			●親子米づくり体験の場の提供			農林資源室A				○
		1				●親子芋掘り体験の場の提供			農林資源室A				◎
③遊休農地の利活用	1				●園芸福祉等への活用			農林資源室A				◎	
	1				●まちづくりと連携した活性化の検討			農林資源室A	地域経営室A			◎	
	1				●遊休・荒廃農地の解消への取組み			農林資源室A				◎	
合 計	24年度各評価数	12	4	0	1		4	1	14	2	0		
	24年度評価割合%	70.6	23.5	0.0	5.9								
	23年度各評価数	11	5	0	1								
	23年度評価割合%	64.7	29.4	0.0	5.9								
	22年度各評価数	11	5	1	0								
22年度評価割合%	64.7	29.4	5.9	0.0									

環境目標6 落ち着いた暮らしのできる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等				
(1) 生活に支障のない静けさを確保する	①騒音・振動発生源対策		1			●工場等の新增設に対する事前審査	環境保全担当B		商工経済室A				○
		1				●環境保全協定等の締結	環境保全担当A		商工経済室A				◎
			1			●公害防止施設整備等防音対策と融資制度の充実	環境保全担当B		商工経済室A				○
		1				●建設作業に伴う騒音、振動の防止又は指導対策	環境保全担当B		農林資源室A 営繕住宅室A	道路河川室A 下水道建設室A	維持管理室A		◎
			1		●道路構造の改良、防音壁の設置			農林資源室A				○	
	②近隣騒音対策	1	前回			●近隣騒音に関する地域でのルール確立	環境保全担当A						○
		1	前回			●拡声器使用方法の適正化	環境保全担当A						○
		1				●カラオケ、爆音機等の騒音対策	環境保全担当A		農林資源室A				◎
	③騒音・振動の監視	1				●騒音、振動測定と監視の充実	環境保全担当A						◎
		1	前回			●夜間騒音、交通騒音に対する関係機関との連携による抑制指導の強化	環境保全担当A		維持管理室A	下水道建設室A	道路河川室なし		○
	④土地利用の適正化		1			●都市計画法に基づく土地利用の適正化			都市計画室B				○
			1			●土地利用マスタープランによる秩序ある土地利用の推進			都市計画室B				○
(2) 快適な音環境を豊かにする	①地域固有の音の保存			1		●地域固有の音の実態調査	環境保全担当C					△	
				1		●快適な音の保存	環境保全担当C					△	
	②自然の音を生み出す環境づくり			1		●自然の音が聴こえる生活環境づくり	環境保全担当C					△	
(3) 悪臭による不快感を取り除く	①悪臭防止対策	1	前回			●発生源対策の指導強化	環境保全担当A					○	
	②香りの創出	1				●浄化槽の法定管理の徹底 ●森林機能の保全と緑化推進との連携			上下水道営業室B 農林資源室A			◎	
合計	24年度各評価数	9	6	3	0		13	0	12	3	2		
	24年度評価割合%	50.0	33.3	16.7	0.0								
	23年度各評価数	5	10	3	0								
	23年度評価割合%	27.8	55.6	16.7	0.0								
	22年度各評価数	6	9	3	0								
22年度評価割合%	33.3	50.0	16.7	0.0									

環境目標7 緑と身近にふれあいができ、地域の個性を生かした快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 緑と空間のなかに生活を確保する	①身近な緑地の充実と管理		1			●お年寄りから赤ちゃんまでが、安心して憩える市域の総合的な「ふるさとの杜づくり計画(緑の基本構想)」の策定				都市計画室B			○	
					1	●緑化協定、緑地保全地区の指定等の制度の活用				なし			■	
			1			●運動公園、自然公園、史跡公園など目的性を重視した施設の整備と管理の充実				文化生涯学習室B	観光交流室B		○	
	②緑のまちづくりの推進	1				●緑化推進組織の整備、園芸福祉等の協働展開、イベントの開催				農林資源室A			◎	
		1				●花いっぱい運動、生け垣設置など工場、家庭での緑化運動				農林資源室A			◎	
			1			●公共施設や大樹、並木、街路樹などの適正管理				維持管理室B			○	
			1		1	●緑の質と量の把握及び経年データブックの作成 ●開発行為に伴う緑化の指導	環境保全担当B			なし	建築開発室A		○	
	③緑と水を守り活かすネットワーク		1			●「ふるさとの杜づくり計画(緑の基本構想)」の策定				都市計画室B			○	
	(2) 地域の個性を生かしたまちを確保する	①潤いのある都市景観形成		1			●都市景観形成指針の策定				都市計画室B			○
				1			●まちづくり協定、地区計画、建築協定による地域景観の整備				都市計画室B			○
			1			●都市景観条例等制度の充実整備				都市計画室B			○	
			1			●まちをきれいにする市民運動の展開	環境保全担当A						◎	
			1			●駅前、商店街、住宅地、農山村集落などそれぞれの個性を生かしたまちづくり				都市計画室B	観光交流室C 農林資源室A		○	
			1			●公共施設整備におけるアメニティ施策の導入(都市デザイン)				都市計画室B			○	
					1	●サイン計画(案内板、標識等の総合デザイン)の推進				なし			■	
		1			●屋外広告物の規制				維持管理室A			◎		
		1			●放置自転車、違法駐車等の解消				都市計画室A			◎		
②中高層住宅・建物の周辺への調和			1			●地区計画等による地域景観整備				都市計画室B			○	
	1				●名張市中高層建築物及び集合住宅の建築に関する指導要綱の徹底				建築開発室A			◎		
③皆で楽しめるみちづくり				1	●名張川堤防敷き、城下川等の周辺整備の継続 ●道路用地を活用した緑化、ポケットパーク等の整備				なし	道路河川室なし	農林資源室A		△	
合 計	24年度各評価数	6	11	1	4			2	0	17	4	0		
	24年度評価割合%	27.3	50.0	4.5	18.2									
	23年度各評価数	6	11	1	4									
	23年度評価割合%	27.3	50.0	4.5	18.2									
	22年度各評価数	6	11	1	4									
	22年度評価割合%	27.3	50.0	4.5	18.2									

環境目標8 安心して暮らせる清潔できれいな快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室	環境対策室以外の室等					
(1) ごみを減らし、有効利用する	①ごみの減量化対策	1				●資源ごみの分別収集体制の促進		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	
		1				●ごみ減量化の普及啓発		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B			◎	
		1				●資源集団回収活動の促進		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●市民団体の育成、支援等		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●商品販売店、事業場等の包装紙、容器等の改善の遵守（使い捨て容器等の削減）		ごみゼロ推進担当A	商工経済室A			◎	
	②ごみの有効利用	1				●生ごみ堆肥化の促進		ごみゼロ推進担当A	農林資源室A			◎	
		1				●リサイクル運動の促進		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●再資源化の普及啓発		ごみゼロ推進担当A				◎	
			1				●バザー等によるリユース運動の促進		ごみゼロ推進担当B	環境衛生組合A	商工経済室C		○
													○
(2) ごみ等を適正に処理する	①廃棄物の適正処理	1				●ごみ出しルールの徹底		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B			◎	
		1				●汚水処理施設から発生するごみの適正処理		ごみゼロ推進担当B	環境衛生組合A	下水道維持室A		◎	
	②廃棄物処理施設の適正管理	1				●清掃工場の適正管理			環境衛生組合A			◎	
		1				●リサイクル施設の適正管理			環境衛生組合A			◎	
		1				●伊賀南部浄化センター施設の適正管理			環境衛生組合A			◎	
	③産業廃棄物処理対策		1				●産業廃棄物処理施設の整備に伴う融資制度、窓口相談等の充実			商工経済室A			○
		1				●工場、事業場における産業廃棄物処理計画の作成指導		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●有害廃棄物の適正処理の指導		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	
		1				●廃油、廃プラスチックなど産業廃棄物の適正処理		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	
		1				●不法投棄防止のためのパトロール強化（県、警察との連携による監視）		ごみゼロ推進担当A				◎	
(3) ごみ対策の支援制度を構築する	①ごみ処理支援	1				●市民団体の育成、支援等		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●ボランティア活動への支援等		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●ごみ分別サポーターの育成と支援		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●環境委員活動の支援		ごみゼロ推進担当A				◎	
(4) まちをきれいにする	①散乱ごみ対策	1				●まちをきれいにする運動の促進	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●空き缶、空きビンなどの分別・回収システムの充実		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	
		1				●ボランティア活動に対する支援等	環境保全担当A					◎	
		1				●広報、看板等の啓発活動の促進	環境保全担当A					◎	
		1				●監視員によるパトロール		ごみゼロ推進担当A				◎	
		1				●関係行政機関、事業者との協力体制の確立		ごみゼロ推進担当A	観光交流室A			◎	
			1				●ごみの持ち帰り運動の展開			観光交流室A			○
合計	24年度各評価数	27	3	0	0		3	23	16	2	0		
	24年度評価割合%	90.0	10.0	0.0	0.0								
	23年度各評価数	27	3	0	0								
	23年度評価割合%	90.0	10.0	0.0	0.0								
	22年度各評価数	19	11	0	0								
	22年度評価割合%	63.3	36.7	0.0	0.0								

環境目標9 安全かつ健康で住み良い快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価			23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室	環境対策室以外の室等				
(1) 交通事故のない明るい暮らしを確保する	①交通安全対策	1				●市民交通安全推進運動の促進			都市計画室A		◎	
		1				●交通安全教育の充実			都市計画室A		◎	
		1				●交通安全指導員の育成			都市計画室A		◎	
		1				●交通安全協力団体の育成指導			都市計画室A		◎	
		1				●交通事故多発区域の啓発			都市計画室A		◎	
	②交通規制、駐車対策	1				●駐車場、駐輪場の整備促進			維持管理室B		◎	
		1				●効果的な交通規制の推進			都市計画室A		◎	
					1	●住宅地内での空き地の駐車場への活用促進			なし		■	
					1	●歩行空間の整備			なし		■	
		1				●道路放置物の撤去	環境保全担当A		維持管理室B	農林資源室A		◎
	③公共交通				1	●近鉄大阪線の輸送力の増強の要請			なし		■	
			前回		1	●近鉄駅周辺の整備構想の策定			都市計画室なし		○	
			前回		1	●福祉バスの運行との連携充実			都市計画室なし	健康福祉政策室なし	○	
		1				●コミュニティバスの導入と運行の充実			都市計画室A		◎	
				1	●主要駅でのタクシー車両の増配車の要請			なし		■		
(2) 食品等の安全を確保する	①食品等の安全確保	1				●消費生活運動の推進			総合窓口センターA		◎	
		1				●地元産食材の活用			農林資源室A	学務管理室B	保育幼稚園室A	◎
		1				●安全食品の市民や学校給食への提供			学務管理室A		◎	
		1				●農薬使用の適正化の徹底			農林資源室A		◎	
		1				●食材の適正表示の推進			総合窓口センターA	農林資源室A		◎
		1			●生産者による生産履歴記帳の推進			農林資源室B		○		
	②食品等への注意喚起		1			●BSE対策（飼料・肥料の使用と解体後の適正処理）の推進啓発			農林資源室A		○	
			1			●輸入食品の安全性確認のための情報提供			総合窓口センターB		○	
1		前回			●鳥インフルエンザなど新しい病疫への注意と警戒の周知	環境保全担当A		危機管理室B		○		
(3) 災害のない安全な暮らしを確保する	①自然災害の防止		1			●名張川等の河川改修の促進			都市整備政策室B		○	
			1			●老朽ため池の改修整備			農林資源室A		○	
			1			●災害危険箇所の計画的な整備			危機管理室B	維持管理室A	農林資源室A	◎
			1			●防災意識の高揚のための啓発			危機管理室B		◎	
			1			●自主防災組織・ボランティアの育成			危機管理室B		○	
			1			●防災備品の充実			危機管理室A		◎	
	②火災予防対策の推進	1				●消防力の充実整備			消防救急室A		◎	
					1	●中高層建築物の消防対策に合致した開発指導			なし		■	
					1	●防災基盤整備計画の策定			なし		■	
			1			●防火意識の高揚を図る啓発活動の推進			消防本部予防室B		○	
	1			●消防団組織の充実			消防救急室A		◎			
	1			●火災予防の啓発促進			消防本部予防室B		◎			

③風水害・地震等の 予防対策		1		1	●保水、遊水機能を持つ森林、農地の保全対策 ●透水性の舗装による歩道の整備				農林資源室A			○	
		1		1	●各地域の集会所、公園などを第一次避難場所としての整備 ●ガラス窓・瓦・看板などの建築基準法遵守の徹底				危機管理室B	地域経営室A		◎	
		1			●ガラス窓・瓦・看板などの建築基準法遵守の徹底				建築開発室A			○	
		1			●街路樹やライフラインの点検整備と、復旧マニュアルの作成と 演習				危機管理室B	維持管理室B		○	
		1			●避難予定場所の耐震補強の計画的な整備				危機管理室B			○	
		1			●個人住宅の耐震診断の実施と耐震工事への支援				営繕住宅室B			◎	
		1			●住民への的確な情報伝達				危機管理室A	地域経営室A		◎	
	④防犯対策		1			●犯罪抑止のための広報や啓発活動の推進				危機管理室A			○
			1			●地域の主体的な取組みに対する支援				危機管理室B	地域経営室A		○
			1			●相談事業の充実				危機管理室B			○
			1			●安全な生活環境づくりの強化				危機管理室B			○
			1			●「愛の一声」、地域パトロールの推進				危機管理室B	文化生涯学習室A		◎
	⑤医療体制の整備		1			●診療情報の提供及び医療相談機能の充実				病院医事室A			◎
			1			●市立病院の医療体制の充実				病院経営総務室A			◎
			1			●市立病院の医療機器の整備と充実				病院経営総務室A			◎
		1	前回		●感染症予防などの情報提供と啓発				健康支援室A			○	
		1			●健康づくり講習会の開催				健康支援室A			◎	
合 計	24年度各評価数	31	15	0	9			2	0	48	10	2	
	24年度評価割合%	56.4	27.3	0.0	16.4								
	23年度各評価数	29	19	0	7								
	23年度評価割合%	52.7	34.5	0.0	12.7								
	22年度各評価数	26	22	0	7								
	22年度評価割合%	47.3	40.0	0.0	12.7								

環境目標 10 自然と人とのやさしいふれあいのできる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 自然景観を良好に保全し、自然とのふれあいを確保する	①土地利用の適正化	1				●森林法、自然公園法、農業振興地域の整備に関する法律などによる地域指定の推進			農林資源室A	観光交流室A			◎	
			1			●土地利用マスタープランによる秩序ある土地利用の推進			都市計画室B				○	
	②野生生物への対策	1				●鳥獣愛護思想の普及啓発	環境保全担当A							◎
					1	●鳥獣保護区、休猟区の指定			農林資源室なし					■
			1			●天然記念物の保護			文化生涯学習室A					○
				1		●ホタル、カブトムシなどの小動物の生活圏の保護	環境保全担当C							△
				1		●希少生物の保護	環境保全担当C							△
	③身近な自然の確保			1		●外来生物の駆除	環境保全担当A							○
			1			●身近な自然探訪ネットワーク整備の推進	環境保全担当C			文化生涯学習室B				△
					1	●古木や大樹の保存			文化生涯学習室A	都市計画室B				○
				1		●寺社林等の保護・育成と緑の拠点づくり			文化生涯学習室C	都市計画室B				△
	④森林の保全対策				1	●巣箱づくり運動などの促進			なし					■
			1			●環境林などの指定			農林資源室A					○
			1			●植林、伐採など森林施業の推進			農林資源室A					○
			1			●生活環境保全林の整備			農林資源室A	維持管理室A				○
	⑤自然とのふれあい増進				1	●市民等が参加する三重県の保全活動制度の活用	環境保全担当B			なし				○
					1	●自然樹木の育苗促進			なし					■
			1			●自然観察・探鳥会などイベントの開催	環境保全担当C							△
					1	●自然とふれあえる環境教育の実践	環境保全担当B			文化生涯学習室A				○
	⑥自然公園の整備				1	●遊歩道、休憩所などの施設整備			農林資源室なし					■
				1	●自然環境ボランティアやインタープリターの育成と活用			なし					■	
		1			●都会と交流による体験学習の促進			農林資源室B					◎	
			1		●園内の建築物、工作物の修景整備			観光交流室A					○	
合 計			1		●遊歩道、キャンプ場、ふれあい広場、サイクリング道などの整備及び施設管理			観光交流室B					○	
			1		●各種イベントの開催	環境保全担当A			観光交流室A				◎	
			1		●ごみを『捨てない』『持ち帰る』などの環境美化運動の展開			観光交流室A					○	
	24年度各評価数	4	12	5	5	9 0 17 4 0								
	24年度評価割合%	15.4	46.2	19.2	19.2									
	23年度各評価数	4	12	5	5									
23年度評価割合%	15.4	46.2	19.2	19.2										
22年度各評価数	2	14	6	4										
22年度評価割合%	7.7	53.8	23.1	15.4										

環境目標 1.1 歴史の趣を生かしてまちの個性を磨く快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 歴史文化的遺産の保護、保存、活用を図る	①文化財の保護、保存と活用		1			●文化財標識等の整備による回廊づくり					文化生涯学習室B			○
				1		●郷土資料館の整備充実					文化生涯学習室C			△
				1		●史跡等の公有地化の推進					文化生涯学習室C			△
			1			●史跡公園等の整備					文化生涯学習室B			○
			1			●文化財愛護思想の高揚					文化生涯学習室A			◎
	②身近な歴史的文化的環境素材の活用	1				●歴史的環境素材の調査及び公開					文化生涯学習室A			◎
		1				●地域が行う文化財講座等への支援					文化生涯学習室A			◎
		1				●文化財指定の推進					文化生涯学習室A			◎
	③伝統文化の伝承と活性化	1				●地域の伝統文化振興への支援					文化生涯学習室A			◎
1					●イベントなど住民参加の機会の確保					文化生涯学習室A			◎	
(2) 歴史的文化的遺産と調和したまちづくりを進める	①歴史的文化的遺産との調和	1				●遺産周辺環境の整備					文化生涯学習室A			◎
			1			●地区協定、建築協定の推進					都市計画室B			○
			1			●史跡等文化財の整備活用計画の作成					文化生涯学習室B			○
合計	24年度各評価数	7	4	2	0				0	0	13	0	0	
	24年度評価割合%	53.8	30.8	15.4	0.0									
	23年度各評価数	7	4	2	0									
	23年度評価割合%	53.8	30.8	15.4	0.0									
	22年度各評価数	5	5	3	0									
	22年度評価割合%	38.5	38.5	23.1	0.0									

環境目標12 望ましい地球環境を創造する快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室担当室の平成24年度評価					23年度評価			
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等						
(1) 地球温暖化防止活動を積極的に進める	①温室効果ガス対策		前回		1	●エコポイント事業などの推進と支援	環境保全担当C		商工経済室B				○		
					1	●環境家計簿の推進と啓発	環境保全担当B						△		
		1				●必要に応じての環境測定の実施	環境保全担当A						◎		
			1			●省エネ・省資源の徹底	環境保全担当A						○		
		前回	1			●新エネルギー対策事業の推進（家庭用新エネルギー普及支援事業など）	環境保全担当B						◎		
				1		●事業者、市民などに対する意識啓発	環境保全担当B						○		
	(フロン対策)			1		●代替フロン使用事業所への適正管理の要請	環境保全担当B						○		
				1		●法律に基づいた適正な排出処理徹底の啓発	環境保全担当B						○		
				1			環境保全担当B						○		
	(その他の温室効果ガス対策)			1		●畜産糞尿の適正処理の啓発	環境保全担当B		農林資源室A				○		
				1		●畜産糞尿処理施設整備の支援	環境保全担当B		農林資源室A				○		
		1	前回			●アイドリングストップの啓発	環境保全担当A						○		
			1		●電気や車の使用を控え地球環境にやさしい行動となることの啓発	環境保全担当A						○			
②市の地球温暖化防止対策の推進		1			●名張市地球温暖化対策実行計画の策定と推進	環境保全担当A						◎			
		1			●クールビズ、ウォームビズの啓発と推進	環境保全担当A						◎			
		1			●環境マネジメントシステム（EMS）の構築と運営	環境保全担当A						○			
③市民などによる活動等への支援		前回		1	●エコポイント事業などの推進と支援	環境保全担当C		商工経済室B				○			
		1			●地球温暖化防止活動などへの講座受講の促進	環境保全担当A						○			
		1			●地球環境保全活動への参加と情報提供	環境保全担当A						○			
(2) 地球環境の保全活動を進める	①地球環境保全対策			1	●事業者、市民などに対する酸性雨の情報提供と意識啓発	環境保全担当C						△			
				1	●酸性雨の軽減のための情報提供	環境保全担当C						△			
		前回	1		●定期的な大気の大気の実施と結果の公表	環境保全担当C						◎			
	(生態系の保護対策)		1		●外来生物の調査実施	環境保全担当B						○			
			1		●外来生物法の啓発	環境保全担当B						○			
				1	●レッドデータブックに掲載された生物の保護の啓発	環境保全担当B		文化生涯学習室C				△			
(森林による吸収の促進)			1	●地域内の野生生物の生育・生息地の保全	環境保全担当B						△				
		1		●下刈り、枝打ちなどの適正な森林施業の促進			農林資源室A				○				
	1		1	●実のなる樹木の植栽推進と保全			農林資源室B				○				
				●森林への不法投棄と山火事の防止対策の推進		ごみゼロ推進担当A	消防本部予防室A				◎				
合計	24年度各評価数	5	16	5	2						25	1	8	0	0
	24年度評価割合%	17.9	57.1	17.9	7.1						135	36	213	34	4
	23年度各評価数	6	17	5	0										
	23年度評価割合%	21.4	60.7	17.9	0.0										
	22年度各評価数	4	19	5	0										
	22年度評価割合%	14.3	67.9	17.9	0.0										
総計	24年度各評価数	139	141	30	27	24年度施策項目合計337									
	24年度評価割合%	41.2	41.8	8.9	8.0	23年度施策項目合計337									
	23年度各評価数	129	152	36	20	22年度施策項目合計337									
	23年度評価割合%	38.3	45.1	10.7	5.9										
	22年度各評価数	97	174	44	22										
	22年度評価割合%	28.8	51.6	13.1	6.5										

担当室合計
422

評価担当室422の内訳		
環境保全担当	ごみゼロ推進担当	その他の担当室
135	36	251

※ 実施状況の評価欄は、下記のように評価しています。
 ◎・・・概ね(75～100%程度)推進できた。
 ○・・・計画どおり(50～75%程度)推進中である。
 △・・・やや遅れている(25～50%程度)が推進中である。
 ■・・・未着手あるいは大幅に(0～25%程度)遅延している。